



令和7年7月8日

報道機関各位

たきぎのう
上田 薪能を観る会の皆様が市長を表敬訪問します

今年度、**最終回**となる上田城跡能の開催にあたり、上田薪能を観る会の皆様が市長を表敬訪問しますので、取材についてご配意いただきたく、ご案内申し上げます。

- | | |
|---------|--|
| 1 日 時 | 令和7年7月15日（火） 午後3時30分から（30分程度） |
| 2 場 所 | 市役所本庁舎4階 応接室 |
| 3 来訪者 | 上田薪能を観る会 小山 壽一 会長
宮川 克巳 副会長
石郷岡祐松 副会長
竹田 貴一 副会長 |
| 4 市側出席者 | 上田市長 土屋陽一 他 |

上田市は「SDGs 未来都市」です。



上田市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



本件に関する問合せ先

上田市文化スポーツ観光部 文化政策課

課長 春原 （担当者 係長 宮下）

TEL:0268-75-2005

mail:bunka@city.ueda.nagano.jp

第二十八回〈最終回〉

上田城跡能

演目

大蔵流 狂言

かぎゅう
「蝸牛」

やまもと のりしげ
山本 則重

宝生流 能

みだれ
「乱」

ほうしょう かずふさ
宝生 和英

【日時】令和7年 8月23日(土) 12時開場
12時40分～能楽講座
13時3分開演

【会場】サントミュージゼ（上田市交流文化芸術センター）大ホール

2階ホワイエ（ロビー）にて、「濱村家能面コレクション」の能面、能に関する絵画等、第1～28回のポスターを展示します。

同日／12時40分～13時10分
能楽講座
講師／佐野 登
本公演チケット購入者のみ対象

能面の展示
上田市立博物館（上田城跡公園内）で、上田市指定文化財「濱村家能面コレクション」から能面を展示し、あてやかな能楽の世界を紹介します。
期 間：7月31日(木)～8月31日(日) 9時～17時（入館は16時30分まで）
休館日：6、19、20、27日（標記期間中は上田城跡能鑑賞券提示で入場無料）

鑑賞券／S席4,000円、A席3,500円、B席3,000円（全席指定・税込） 7月2日(水) 10時から発売

※能楽講座に参加する児童・生徒（市内の小学5・6年生および中学生）の保護者は、通常3,000円のところ、2,000円で購入できます。詳細は市ホームページへ。

【鑑賞券発売場所】 サントミュージゼ（上田市交流文化芸術センター）、上田市文化政策課（上田市役所本庁舎4階）、丸子文化会館、真田中央公民館、サントミュージゼインターネットチケット予約システム（会員登録が必要です）

【お問い合わせ】 上田市文化政策課 ☎0268-75-2005 平日8時30分～17時15分

【主催】 上田新能を観る会（上田宝生会、上田観世会、上田市文化芸術協会、上田市、上田市教育委員会）

【後援】 長野県能楽連盟、信濃毎日新聞社、信州民報社、東信ジャーナル社、週刊上田新聞社、上田ケーブルビジョン、丸子テレビ放送株式会社

【協賛企業】 上田城跡能にご理解・ご協力いただきました各社（50音順）

株式会社不動産、株式会社島商店、みずす館、株式会社インターサポート、上田高砂殿、上田小泉歯科医師会有志、上田土地建物株式会社、上田プラスチック株式会社、手打百盛、おお西、手打そば、刀屋、木町薬局、クリナップ株式会社、クロサワメタル株式会社、株式会社小泉中部、医療法人芳米会、甲田クリニック、株式会社幸和建設、小柳産業株式会社、JA信州うえだ、塩沢税務会計事務所、株式会社エンジニアリング、岡島田屋、昭和電機産業株式会社、昭和薬業株式会社、信州玉姫殿グループ、住吉耳鼻咽喉科、株式会社重商会、株式会社はな上田店、株式会社タック、TOTO株式会社、株式会社TOTOKU、株式会社トミック、（公社）長野県宅建協会上田支部、株式会社中山住宅資材、株式会社西入不動産鑑定事務所、眠りの専門店 まるげん、有出水サッシ建材、水沢税理士事務所、メガネのヤジマ、株式会社ユウス、株式会社ワールド重機開発



▲上田市HP

第二十八回 上田城跡能

令和七年八月二十三日(土)

長野県上田市 サントミューゼ(上田市交流文化芸術センター) 大ホール

十二時 開場

能楽講座

十二時四十分、佐野 登

本公演

午後一時三十分 開演

《解説》 佐野 登

仕舞

田 村 キリ 上野 能寛
羽 衣 キリ 中村孝太郎

地謡

鶴田 航己
小林 晋也
今井 基
松田 脩

宝生流

舞囃子 熊 野

野 月 聡 太鼓 内田 輝幸
小鼓 鳥山 直也

笛 小野寺竜一

地謡

岩上 昂平 木谷 哲也
鶴田 航己 金井 雄資
朝倉 大輔 上野 能寛

大蔵流

狂言 蝸 牛

シテ(山伏) 山本 則重
アド(主人) 山本泰太郎
小アド(太郎冠者) 山本 則秀

《解説》 佐野 登

《休憩 十五分》

《解説》 佐野 登

宝生流 能 乱 シテ 宝生 和英
ワキ 野口 琢弘

大鼓 内田 輝幸 太鼓 小寺真佐人
小鼓 鳥山 直也 笛 小野寺竜一

後見

中村孝太郎
野月 聡

地謡

鶴田 航己 小林 晋也
上野 能寛 小林与志郎
木谷 哲也 佐野 登
朝倉 大輔 今井 基

(午後四時 終演予定)

あらすじ

狂言「蝸牛」(かぎゅう)

祖父の長生きを願い、それに効き目があるという蝸牛(かたつむり)を取ってくるよう、主人は太郎冠者に命じます。ところが太郎冠者は、蝸牛とはどのようなもので、どこにいるかを知りません。

藪に住み、頭が黒く、腰に貝を付けていて、時々角を出し、また年を重ねたものは人間くらい大きさもあると教えられた太郎冠者は、早速探しに出掛けます。すると、ちやうど修行を終えて故郷へ帰る途中の山伏が藪の中で眠っているのを見つけ、もしかしたら蝸牛ではないかと声を掛けるのです。

能「乱」(みだれ)

唐土かね金山の麓、揚子に高風という孝行者が『揚子の市で酒を売ると富貴になる』という夢を見、そのとうりにしたところ、次第に豊かな身になりました。市を開く度に来る客で、いくら酒を飲んでも面色の変わらない者がいて、不審に思ひ名を尋ねると、海中に棲む狸々であると答え、今夜薄陽の江にて酒を用意して待つようにと告げます。

月澄み渡る秋の夜、薄陽の江にて高風が酒を携え待つていると、狸々が現れ、酒の功を讃え、共に酒を酌み交わします。風や波の奏でる音に興じ、狸々は舞「乱」を舞います。

狸々は高風の心が素直であることを讃え、いくら汲んでも・飲んででも尽きることのない酒壺を与えます。やがて高風が夢から覚めると、酒壺は消えることなく残っていました。高風は益々富貴の身となり、家も代々栄えたのでした。

講座

能「乱」事前学習会

本公演で上演される能「乱」のみどころを解説する講座を行います。

【日 時】

令和7年8月2日(土)
午前10時から正午まで
(午前9時30分開場)

【会 場】

中央公民館 大会議室(定員50名)

【入場料】

無料

【申込先】

6月25日(水)以降に参加者全員の住所・氏名・電話番号をご用意のうえ、電話でお申し込みください。

上田市文化政策課

☎ 0268-75-2005

平日午前8時30分から午後5時15分

※定員になり次第締切



ほうしょう かずふさ
宝生 和英



やまもと のりしげ
山本 則重

演者